

令和6年度 第3回買物公園エリアプラットフォーム会議 会議要旨

【開催日時】

令和6年7月8日（月） 18：30～20：30

【開催場所】

旭川市庁舎1階レストラン

【会員参加者（敬称略）】

赤松 昌輝, 有馬 準, 草野 常幸, 近谷 岬, 佐藤 祐哉, 四戸 秀和, 須川 亜優,
鈴木 伸治, 高橋 遼太郎, 長尾 英次, 中田 崇太, 蜂須賀 咲来, 三浦 詩乃（Web）,
山田 直人, 安食 真（アドバイザー, Web）, 旭川市

【会議資料】

- ・ 第3回 エリアプラットフォーム会議
- ・ 参考資料 効果検証内容について

【会議内容】

1 開会

2 議事

① 社会実験に関する進捗報告

- 進行役より、資料「第3回 エリアプラットフォーム会議」に基づき、社会実験のロゴタイプについて説明。
- 事務局より、同資料に基づき、全体のスケジュールや進捗状況、滞在空間の状況、社会実験の広報、バッキングエリアの募集について説明。
- 以上の内容について、説明のとおり進めていくことが確認された。

② コンテンツについて

- アドバイザーより、全体のコンテンツ内容の企画案について説明。
- 各ディレクターより、現在の各ゾーンにおけるコンテンツ案の検討状況について説明。
- <グループワーク>
 - ・ ゾーンごとに、コンテンツの日時や具体的な内容、社会実験に向けた周囲の関わり方などについての議論を進めるため、グループワークを実施。
 - ・ グループワークを通じて、コンテンツの内容について進展があった部分などを中心に、次のとおり発表を行った。

《ゾーンⅠ》

- ・ 現在のコンテンツ案に加えて、買物公園周辺の企業間交流を目的としたイベントの開催や、旭川デザインセンターの出張展示会、昔の買物公園の写真展示という新たなコンテンツの提案があった。
- ・ また、買物公園において過去に起業された方を招いたクロストークを開催するアイデアも出たので、具体的に検討していきたい。

《ゾーンⅡ》

- ・ 買物公園の事業者をメインにコンテンツに関わってもらい、継続的に利益を生み出せるような環境づくりを目指していきたいと考えている。
- ・ 8月23日から25日はスポーツとアウトドアをテーマに、ディキャンプやフットサルイベントの実施を予定しており、周辺の飲食店からは食べ物や飲み物をテイクアウトにより提供してもらうことを考えている。
- ・ 8月30日から9月1日はアートとファッションとDJのコラボをテーマとして、好きなことを語るマニアックナイトや、買物公園の服飾関係の事業者による出展及び写真撮影の企画などを行うファッションアートストリートの開催を予定している。
- ・ 9月7日はけん玉プレイヤーを招き、子どもたちや大人向けにも楽しんでもらえるようなけん玉イベントの開催を予定している。

《ゾーンⅢ》

- ・ 滞在空間として大きなテーブルを中心としたコンテンツの展開を考えている。
- ・ 具体的なコンテンツとしては、インフォメーションボードを活用した店舗紹介カードの設置、周辺の飲食店と連携した朝営業や夜の乾杯タイムの実施、自転車利用者を迎えるためのサイクルラックの設置、フードテラスにある観光案内所の出張所の設置や、まち歩きツアーの実施などを予定している。
- ・ さらに、ゾーンⅢに限らず全体的な企画として、社会実験への想いなどをテーマとしたクロストークを実施したいと考えている。

《ゾーンⅣ》

- ・ コンテンツとしては、映画祭の開催、モニュメントとしてのグリーンモンスターづくり、満月の夜にキャンドルナイトを開催することなどを予定している。
- ・ また、アートゾーンにおいてチョークアートや大きな絵を描くワークショップの開催を予定しており、周辺の学校やプレーパークの団体などに声を掛けて、自主企画として実施してもらうことを考えている。
- ・ さらに、運営側がいなくてもできるようなイベントとして、インスタグラムを活用したタイムアタック企画なども検討している。

● 各グループの発表に対して、参加者から、次のような意見があった。

- ・ 広報が非常に重要であり、各自が情報を発信して、広報の役割を果たす必要がある。
- ・ 単なるイベントではなく、その延長線上に日常があることを意識して企画を進める必要がある。商店街の方々が自分事として関わり、新しい人とつながりを作れるような企画になるよう考えていく必要がある。

③ 社会実験の効果検証について

- 社会実験効果検証業務の受託業者より、配付資料「参考資料 効果検証内容について」に基づき、効果検証の概要について説明。

④ 今後のスケジュールについて

- 事務局より、今後のスケジュールについて説明。